



みんないっしょ ずーっといっしょ

宝塚第一小学校区まちづくり協議会



まちキョン

VOL.49

2022年11月1日発行

編集・発行 広報委員会

連絡先 一小宝梅ハウス

0797-57-9060

宝塚市宝梅 1-12-43

紅葉ガ丘崩落箇所対策工事



2020年7月、数日続いた雨により紅葉ガ丘地区の光ガ丘中学校通学路沿いの斜面2ヶ所が崩落しました。

この場所は土砂災害特別警戒区域に面していますが、日頃から通学路として、また地域住民の生活路として利用されています。そのため崩落斜面の対策工事が急がれました。

県では崩落箇所の対策工事(2021年6月完成)と同時に特別警戒区域全体の地盤を再調査した結果、区域全体の抜本的な対策が必要と判断し、今年1月から来春完成を目指して工事が進行中です。

紅葉ガ丘地区は大部分が土砂災害警戒区域に含まれています。

この対策工事によって、紅葉ガ丘はもちろん、塩谷川沿いの地域の安全性が高まることが期待されます。

寿楽荘自治会

毎年ラジオ体操開催中の日曜日に親子で防災訓練をしています。



発電機の起動訓練

防災への取り組み



安心キット作成



一小校区内では安心して暮らせる地域を目指して防災へのいろいろな取り組みが行われています。あなたの周りはいかがですか？

紅葉ガ丘自治会

7/30(土)紅葉ガ丘くわくランドで夏休みラジオ体操終了後、防災倉庫備品の見学会を行い、イザ！という時地域の防災倉庫備品の活用を参加した子どもたち、地域の方と考えました。

停電への備え

自治会や第2地区民生児童委員協議会では、発電機やポータブル電源を準備しています。

桜のつぼみ

地域サロン「桜のつぼみ」では、寿楽荘自治会の方を中心に、「安心キット」作成に取り組んでいます。高齢者だけでなく、救急車を呼ぶかもしれない全ての世代の人に知って頂き、いち早く正確な情報で病院への搬送が行われるようにと講習会を行いました。



宝塚自治会

宝塚公会堂が届出避難所になっていて運営管理、災害時の見守り体制が整備されています。

宝塚公会堂



地区防災委員会

9/24(土) コロナ禍で活動停止していた地区防災委員会を開催しました。校区を7つのブロックに分け、グループワークでは白地図を使い、避難経路や防災倉庫、井戸などの位置を書込み、地域の備え、安全ゾーンなどを可視化しました。

今後も定期的開催し、防災について地域で連携できるシステムを構築したいと思います。

一小の井戸

校庭に井戸が出現！災害時の頼もしい味方です。



俳句コーナー

皆さんも俳句を作ってみませんか。以下の兼題で俳句を作り、書式は問いませんので住所と氏名を記入のうえ、2/15までに宝梅ハウスへ投函してください。〔郵送・FAXでの応募も可
このページ右上の連絡先まで〕
投句の中から入選句を選び、次号の俳句コーナーに掲載させていただきます。
兼題「春」または「数字」を使った句



応募句入選作
○虫食いのモミジただよう川面かな
かついち
ようこ

安全部会



7/14(木)一小3年生に向けて、宝塚市・宝塚警察・まちづくり協議会・育友会合同で「自転車安全教室」を行いました。夏休みになると子どもたちの活動範囲も広がってさまざまな事故に巻き込まれる危険性があるため、例年夏休み前に開催しています。コロナ禍で開催が見送られていましたが、今年は3年ぶりに実施することができました。感染予防を徹底しながら、体育館と教室で交通ルールや自転車の乗り方について授業を行いました。

一小まち協が担当した「交通ルール〇×クイズ」では、生徒たちが〇×の書かれたうちわを持って、協力しながら正解を導いていました。

みんな非常に熱心に取り組んでおり、なかには核心をつく回答もあり、驚かされました。チャイムが鳴った後も、「もう一問！もう一問！」と児童達もとても楽しんだようです。



「災害が起こった時、あなたはどの行動しますか？」

安全部会では、宝塚ボランティアプラザ zukavo（旧ボランティア活動センター）と協働で宝塚市内の子ども達に防災授業を行っています。

今回は宝塚市内の10名の子ども達と一緒に、非常持ち出し袋の準備や危険予知トレーニング、末広公園の防災トイレ探しを行いました。

当日は看護学生と社会福祉士の実習生ら5名も参加され、子ども達もとても楽しそうにしていました。

子育て部会

7/29(金)宝梅ハウスで「世代間交流広場—夏休み工作教室」を開催しました。昨年は急な感染拡大により開催を直前で断念した経緯もあり、参加は事前予約に限るなど、感染対策に細心の注意を払いました。

当日はまち協スタッフだけでなく、地域の方々も隠れた才能を発揮され、各ブースで一緒に工作を楽しむ姿が印象的でした。子どもたちの笑顔あふれる行事を少しずつ復活していけるよう努力してまいります。



一小宝梅ハウス

宝梅ハウスは一小まち協の拠点としてたくさんの方にご利用いただいています。いきいき百歳体操、ふれあいサロン、種々サークル、習字教室、会議やまち協行事など様々なイベントに活用されています。

毎週水曜日13時半からは「くつろぎカフェ」、

第4水曜日は zukavo（旧ボランティアセンター）による「移動カフェ」を開催しています。

お仲間のティータイムや困りごとのご相談にお気軽にお越しください。

毎年10月には「宝梅ハウス祭」も開催しています。

また、コピー機、印刷機が新しくなりました。ラミネートもできます。

(料金等最終ページを参照ください)

みなさま是非ご利用ください。

さらりと立ち寄ってほしい
無料でご利用いただけます

Open
くつろぎカフェ

一小宝梅ハウス
毎週水曜日 13:30~16:00
第4水曜日のみボランティアセンター主催
13:00~16:00

西谷 カヌー教室



8/11(祝)「武庫川がっこう」主催のカヌー教室が西谷地区佐曾利川で開催されました。地域交流部会も当日スタッフとして参加し、カヌー補助、カレーづくりなどを手伝いました。

一小まち協

検索

最新ニュースをチェックしてね!

地域交流部会

地域交流ネットワーク会議 ～ 一小的規模校解消へ ～

2025年、旧宝塚ホテル跡地に2棟の高層マンションが建ちます。約650世帯の新しい住民を迎えるにあたり、一小まち協では周辺交通規制や公開空地活用などに加え、一小的の児童数問題への対応について宝塚市や開発側と協議しています。

ここ数年、児童数は1100人前後で推移し超大規模校に指定されたままで、仮設教室での授業も14年間続いています。学校内には空き教室がなく、2棟の高層マンションが建つことで約100人(推定)の児童の増加が見込まれ、教育環境の悪化は看過できない事態です。

8/6(土)地域交流ネットワーク会議を開催し、「教室不足」への対応と「超大規模の過密の解消」をテーマに小学校の保護者、自治会長、まち協役員に加え、宝塚市教育委員会から担当課長を招き、解決策を話し合いました。会議の中で教育委員会は学校規模適正化の指針を提示し、参加者で協議、教育委員会事務局と以下を共有しました。

- (1) 「ファミリータイプがいくつあるか？」など開発業者と対話し児童数予想をする
- (2) 教室不足には仮設校舎でない、本設校舎建設・改修などで早急に対応する
- (3) 校区の指定など柔軟な対応を研究し模索する
- (4) 一小校区児童には校区の選択制度を認める(西谷地区などへの通学も可能に)
- (5) 小中一貫校として校区内に学校を整備するなどの長期的に校区編成を見直す
- (6) 地域と教育委員会で「学校規模適正化検討委員会」を立ち上げることを提案する

完成・入居まで残り2年、一小的児童の教育環境だけでなく、周辺の住環境にも注視して協議を継続したいと思います



仮設教室は14年目



新型コロナ禍において
密の対策が取れず
プールの授業は中止
(近隣小学校は実施)



会議は地域・
育友会から30人が参加



有岡城址にて

みんなでまち歩き ～伊丹酒造通り～

「お隣の伊丹のまちづくりをちょっと見に行こう」との声が上がり、秋晴れの9/25(日)に参加者27名が有岡城址、郷町の酒蔵通り、旧岡田家住宅、長寿蔵のコースを3時間かけて歩きました。

酒造りの歴史を学芸員から説明を受けて目から鱗、老松酒造で宮水を飲んでその美味さに感激し、法蔵寺の寿齢500年の大楠に驚いたり、学び遊んだ楽しい一日でした。参加者は4歳から80歳の老若男女で世代間交流にも繋がりました。



樹齢500年
の大楠

長寿蔵ランチ



学芸員さん



酒蔵見学



旧岡田家住宅中庭にて



旧岡田家玄関

福祉部会

7/3(日) 一小視聴覚室にて

「支え合える地域をめざして」をテーマに地域福祉ネットワーク会議を開催しました。

コロナ禍で希薄になった地域のつながりを再構築するため、自治会・管理組合・福祉関係機関からの参加者30名が今地域で取り組める事案を話し合いました。



7/6(金) 一小宝梅ハウスにおいて視覚障がいについて理解を深めたいと、ご自身が視覚障がい者である宝塚市くらんど文化人権センター職員本宮勢也氏をお招きし、視覚障がいの方の特性、生活などをお話しいただきました。



寄せ植え講習会

11/25(金) 宝梅ハウス
 1部 9時半～10時半
 2部 11時半～12時半
 ゴミに関する知識を深めよう!講習会
 2023年1月以降2回開催予定

どちらも詳細はポスターでご確認ください



子育てふれあいサロンのご案内

毎月1回、未就園児と保護者を対象に、相互交流や情報交換、息抜き場として気軽に集える「子育てふれあいサロン」を開催しています。ささいな心配事の相談にも応じますよ。どうぞ気軽に遊びに来て下さい。(無料です)

日時：毎月第2金曜日 10～12時

場所：一小宝梅ハウス 2階
 (宝梅1丁目12-43)



【フードドライブ】にご協力ください!

ご家庭では余っている食品・食べきれない食品を持ち寄り、それを必要としている方や団体に寄付する取り組みです。宝梅ハウスでは食品回収BOXの設置協力をしています。[ボックス設置時間：月～土(祝日を除く)10時～12時]

受付できる食品

- ・常温保存が可能なもの・未開封のもの
- ・賞味期限が1か月以上あるもの

受付できない食品

- ・冷凍・冷蔵食品・アルコール類(みりん・料理酒は除く)
- ・賞味期限が明記されていないもの・手作り品



集 会 室	利用 時間 帯	A	9時～12時	利用時間帯は ご相談に応じます
		B	13時～16時	
		C	17時～20時	
1階 (8～10名)	500円		利用月により 冷暖房費を100円 加算させて頂きま す	
	2階 (24～40名)	1,000円		
印 刷 機	マスター(原紙)		100円/1枚	
	片面 (白紙)	A 4・B 4	3円/1枚	
		A 3	5円/1枚	
	両面 (白紙)	A 4・B 4	4円/1枚	
A 3		6円/1枚		
コ ピ ー 機	白 黒	片面	B 5・B 4・A 4	5円/1枚
		A 3	10円/1枚	
	両 面	B 5・B 4・A 4	10円/1枚	
		A 3	20円/1枚	
	カ ラ ー	片面	B 5・B 4・A 4	30円/1枚
		A 3	50円/1枚	
両 面	B 5・B 4・A 4	60円/1枚		
A 3	100円/1枚			
ラミネート加工		A 4	15円/1枚	
		A 3	25円/1枚	
プロジェクター		ハウス内利用		200円
		持ち出し(2泊3日)		1,000円

宝梅ハウスはたくさんの方に楽しくお使いいただいています。新しくサークルや教室開催を検討されている方、ご相談ください。皆様も是非ご利用ください。プロジェクターも貸出しています。会議などにご活用ください。
 月曜～土曜日(祝日は除く)
 10時～12時 担当者在室
 問合せ
0797-57-9060
 スリッパは用意していません。必要な場合はご持参ください。



<自治会紹介V o l . 9 > 宝塚南口自治会

宝塚南口自治会は、阪急宝塚南口駅の南側に位置した利便性に優れた所です。昭和33(1958)年に発足して64年が経ちました。令和4(2022)年度の自治会加入世帯数は654世帯です。



会員の方から寄贈された望月ハウスを、自治会の運営や交流の場として利用しており、その庭では子ども達が食育の一環として野菜や芋を育てています。現在は会員の健康と交流促進となる企画を新型コロナ収束後に向けて準備中です。また「宝塚南口自治会だより」を発行して親睦に努めています。

今後も安全・安心な住環境の向上を目指して、近隣の自治会や各協議会及び各団体と連携し協議に参加して学びながら積極的に活動していきます。

どうぞよろしくお願ひします。

